

## 令和元年度 第2回栗東市火葬場建設検討委員会（火葬場施設視察研修）

日 時：令和元年8月20日（火）8：45～12：05

内 容：第2回栗東市火葬場建設検討委員会（火葬場施設視察研修）

草津市営火葬場（草津市東草津四丁目3-27）

野洲川斎苑（守山市川田町2230-3）

出席者：高野委員長 大角職務代理者 奥村委員 三好委員 矢部委員 伊丹委員  
吉川委員 川島委員 原田委員 奥田委員（10名）事務局：環境政策課

日 程： 栗東市役所玄関前 → 草津市営火葬場 → 野洲川斎苑  
(8：45) (9：00～9：30) (10：00～11：15)  
→ 栗東市役所2階第1会議室（意見交換）  
(11：50～12：05)

### 【概 要】

#### ○草津市営火葬場（9：00～9：30）

草津市より（あいさつ）

草津市営火葬場は老朽化も進んでおり、更新が課題になっています。広域での設置についても前向きに検討いただきますようよろしくお願いします。

担当より説明

（主な質問等）

- ・燃料は何か。燃焼温度は何度か。  
→灯油。1000℃以上である、手動で行っていることから焼骨も残る。
- ・火葬炉の性能は。  
→平成25年度にすべての炉を更新しており、性能については、適正なものである。
- ・維持管理の費用はどれくらいか。  
→年間1,200万円～1,300万円で火葬炉の中の耐熱レンガ積替えを年2回実施している。

#### ○野洲川斎苑（10：00～11：15）

守山野洲行政事務組合より説明

（主な質問等）

- ・火葬件数に占める葬祭室の使用率は。  
→2割強。
- ・一部事務組合になる形態になった経緯は。  
→当初、守山市だけで検討していたが、最終的に野洲町中主町に事務組合を働きかけた。
- ・野洲川斎苑が出来るまではどのような状況だったのか。  
→地域管理の火葬場もあったが、守山・野洲市営はなく草津市営に行っていた。

- ・ 2市共同で運営するメリット・デメリットは。  
→メリットは火葬炉数や職員数等で個々に運営するより効率化が図れ、経費の負担が小さくなる。デメリットは火葬場の場所の選定時に2市境界付近になることから限定されてしまう。
- ・ 敷地全体と建物の割合はどれくらいか。  
→おおよそ20%である。
- ・ 管内の人が管外で火葬した場合の助成はあるのか。  
→ない。

#### ○栗東市役所2階第1会議室（意見交換）（11:50~12:05）

委員） 諮問の内容について、必要性及び広域連携、事業手法があるが、特に事業手法について、この検討委員会で結論付けるのは難しいと思っているが、PFIなのか直営なのか、公設民営なのかを決定しなくてもよいのか、栗東市財政に負担のかからないように、といった文言でもいいのか。

市） 事業手法については、今の段階で結論付けるまでは難しいと思うので、そのような表現でも結構かなと考えている。

委員） 市長の今回の諮問内容を見ると、答申は詳細までは決定するものではないと思う。

委員長） 次回、第3回検討委員会で答申をまとめていきたいが、状況によって第4回目を開催するかを検討していきたいと考えている。

#### その他

- ・ 事務局より次回、第3回検討委員会ではこれまでの会議や視察を踏まえ、会議の冒頭で諮問に対してのご意見を全委員に発言していただくようお願いした。
- ・ 次回の第3回栗東市火葬場建設検討委員会は8月30日（金）10時開催。

以上。